

保護者アンケート

○実施日 平成28年12月4日～12月8日
○回収率 【アンケートA】99%【アンケートB】99%

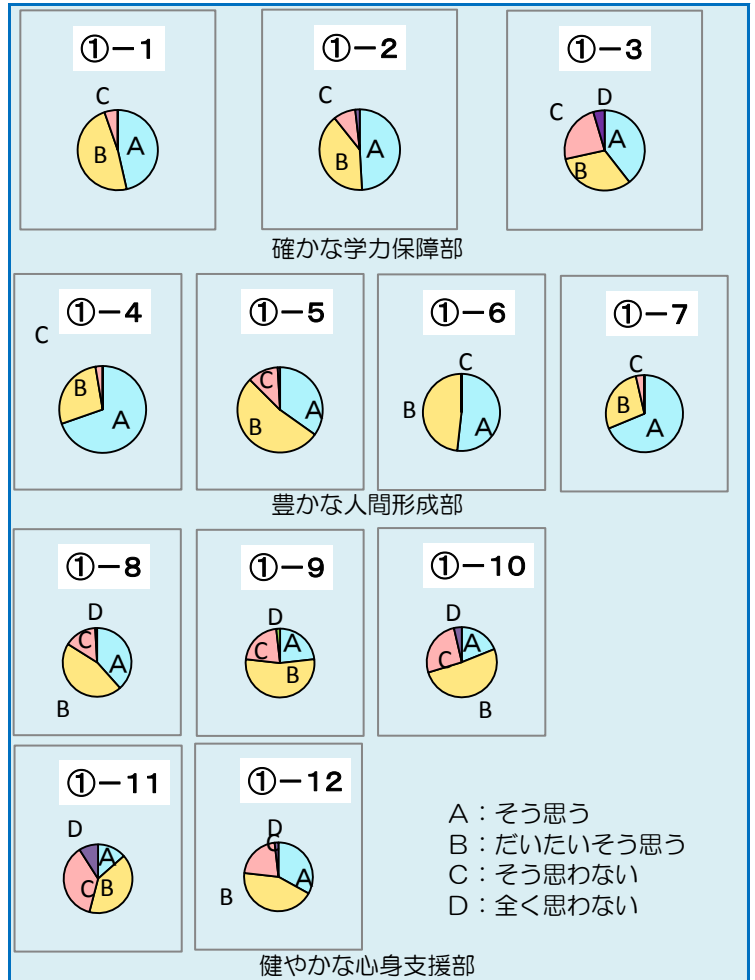
第2回アンケート回収率は、A、Bともに100%に近い数字に達しています。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。集約結果を十分に検討し、保護者の皆様の期待に応えられるよう、今後のドバイ日本人学校の教育活動充実のために生かしていきたいと思ひます。

①子どもの様子

保護者の方から見たドバイ日本人学校の子どもたち
～今年度2回目(後期)のアンケート～

【確かな学力保障部】
①-1「各教科の基礎的な内容の理解」に関しては、A・B評価合計で2.4ポイント増加した。今後も、さらに指導方法改善のための校内研究を進めるとともに、子どもたち一人ひとりに応じた指導を工夫していきたい。①-2「家庭での学習習慣」については、AB評価合計が2.0ポイント減少した。各担任や教科担任から児童生徒に対する宿題や家庭学習の方法についての指導をさらに丁寧に行っていきたい。①-3の「読書習慣」については、前期に比べて、A評価が1.6ポイント減少した。図書ボランティアによる読み聞かせや図書整理、図書委員会での取組等により、学校活動における読書活動は活発になってきている部分も見られる。家庭でも進んで読書活動を行うようになる手立てを検討していきたい。

①子どもの様子		評価	16後期	16前期
確かな学力保障部	①-1 各教科の基礎的な内容の理解を身につけている。	A	46.4	45.2
		B	48.2	47.0
		C	5.4	7.0
		D	0.0	0.0
	①-2 家庭での学習習慣(宿題や自主学習等)を身につけている。	A	49.1	49.6
		B	40.2	41.7
		C	8.9	7.0
		D	1.8	0.9
	①-3 家庭での読書習慣(毎日10分以上または1週間に1時間以上)を身につけている。	A	38.4	40.0
		B	31.3	29.6
		C	23.2	23.5
		D	4.5	7.0
豊かな人間形成部	①-4 友達となかよく、楽しく生活している。	A	69.6	61.7
		B	27.7	36.5
		C	2.7	1.7
		D	0.0	0.9
	①-5 自分に自信をもっている。	A	34.8	31.3
		B	52.7	53.9
		C	11.6	13.9
		D	0.9	0.9
	①-6 友達に思いやりをもって接している。	A	51.8	47.8
		B	48.2	49.6
		C	0.0	1.7
		D	0.0	0.0
①-7 三大行事に積極的に参加している。	A	68.8	69.6	
	B	27.7	29.6	
	C	3.6	0.0	
	D	0.0	0.0	
健やかな心身支援部	①-8 家庭ですすんであいさつをしている。	A	38.4	36.5
		B	45.5	47.8
		C	15.2	15.7
		D	0.9	0.0
	①-9 家庭で気持ちのよいへんじが言える。	A	23.2	20.9
		B	53.6	55.7
		C	21.4	23.5
		D	1.8	0.0
	①-10 家庭で時間のけじめをつけて生活している。	A	18.8	20.9
		B	50.9	47.8
		C	25.9	27.8
		D	3.6	2.6
①-11 家庭でくつならべなどのあとかたづけをしている。	A	13.4	14.8	
	B	40.2	33.0	
	C	36.6	45.2	
	D	8.9	7.0	
①-12 家庭ですすんで身体を動かしている。	A	33.0	35.7	
	B	43.8	39.1	
	C	21.4	21.7	
	D	1.8	3.5	



【豊かな人間形成部】
各項目のA・B評価合計結果について、①-4「友達となかよく楽しく生活している」では97.3%、①-6「友達に思いやりをもって接している」では100%、①-7「三大行事に積極的に参加している」では96.5%となっている。これは、児童生徒会活動における委員会活動・小学部集会を充実させてきたことや三大行事の熱沙祭にて「かかわり合い」を大切に取組を進めてきた成果といえる。併せて上級学年のリーダー性の高まりを実感できた。①-5「自分に自信をもっている」については87.5%となっている。他の項目に比べると若干低くなるが、今年度前期・昨年度後期と比較すると向上が見られた。人権週間での取組や日々の活動で児童生徒を認める機会を意図的に設定してきたため、自分の良さ気づいたり、自信を持たせたりすることにつながったと言える。一方で、①-4や①-7のようにC評価が若干増加している項目もある。より自分の良さ気づくよう、友達と上手に関わる場面を設定し、児童生徒の日々の活動を看取り、認めたり、賞賛したりすることを心がける。また3学期に行う運動会・現地校交流の取組を通して、引き続き「自分の良さ」「友達の良さ」に気づく実践を進める。

【健やかな心身支援部】
あいさつに関する項目①-8「家庭ですすんであいさつしている」では83.9%、①-9「家庭で気持ちのよい返事が言える」は76.8%となっている。前期とほぼ同じ結果となったが、家庭や学校、地域社会であいさつが自然とできるようになるには大人が手本を示す必要があると考える。学校では教師自らが、家庭では保護者自らがあいさつの大切さを理解し積極的にやっていく姿勢を見せ、子どもたちが自然とあいさつをする習慣を身につけさせていく。
時間に関する項目①-10「家庭でけじめをつけて生活している」では、約70%となっている。本校ではチャイム着席を意識させることで時間を守ることの大切さを指導してきたが、家庭での生活の見通しができていない児童生徒が30%程度いる現状であるので、けじめに関する取組を行っていく。
整理整頓に関する項目①-11「靴ならべなどのあとかたづけをしている」では約45%の子どもができていないことが分かった。前期よりもD評価が増加した。学校では1分間整頓タイムを設定し、整理整頓に関しての良さを味わわせ、子どもたち自らがチェックできる取組を行っている。家庭でも進んで実践できるよう整理整頓の習慣を身につけさせていく。
運動に関する項目①-12「家庭ですすんで身体を動かしている」ではA・B評価が約77%と微増となった。涼しく運動しやすい季節となってきたので子ども達の運動に関する意識を高め、家庭でも取り組める運動を紹介し、更なる意識の向上を図る。
結果を真摯に受け止め、子どもたちを更に成長させていきたいと考えている。学校としては3学期も様々な取組を実施していく予定なので、ご支援ご協力をいただきたい。

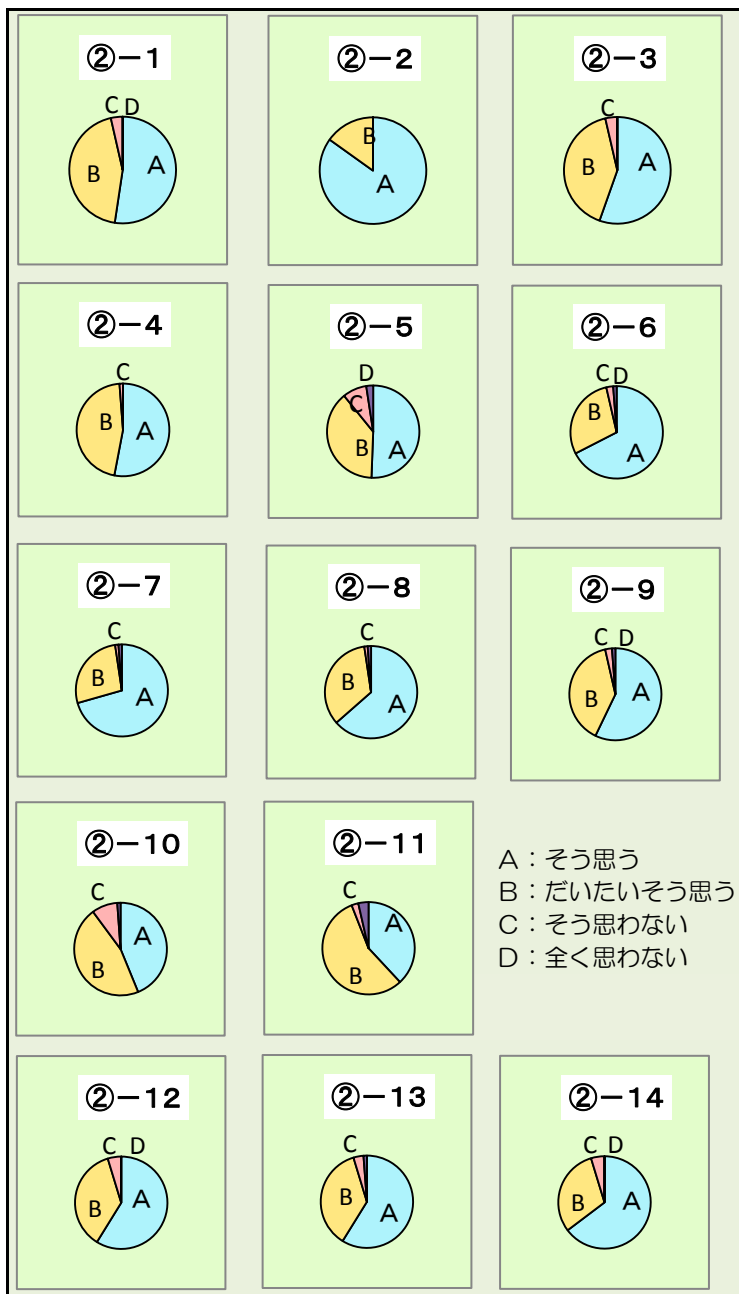
②学校の教育活動

ほとんどの項目でA評価、B評価あわせて約90%以上
「学習環境整備」「安全対策」「心の教育」に重点的に取り組む

今回の保護者アンケートでは、ほとんどの項目でA・B評価合計が90%を超えている。本校の教育活動が、多くの保護者の皆様にご理解いただいている結果と捉えている。児童生徒の活躍や成長の証であると共に、保護者や関係機関のご協力のお陰だと考え、感謝申し上げます。

しかしながら、多くの項目において、本年度前期と比較してA評価の値が減少している。保護者の皆様の声として、「安心・安全で快適な教育環境の整備」「適切な生活指導」などへの要望が大きいと受け止めている。ご意見やご要望を十分に生かし、できる限り迅速かつ適切な対応を行う。②-5「学習環境づくり」は、唯一A・B評価合計が90%を超えなかった項目である。トイレや体育館を中心にした改築もあり、昨年度や前期に比べると評価は少しずつ上がっているが、さらなる日常の清掃活動の充実や校内外の整備に努めていきたい。また、今回の項目の中で最もA評価が少なかった②-11「子どもの間違っただ行動への適切な指導」については、子ども達の発達段階を考慮しつつ、教師間の情報共有を図りながら毅然とした態度で指導していきたい。

②学校の教育活動		評価	16後期	16前期
②-1	学校は全体懇談会等で教育方針をわかりやすく伝えている。	A	51.8	63.5
		B	43.5	35.3
		C	3.5	0.0
		D	0.0	0.0
②-2	学校は授業及び学校行事を参観する機会を適切に設けている。	A	85.9	85.9
		B	15.3	14.1
		C	0.0	0.0
		D	0.0	0.0
②-3	アンケート等を行い改善に努めている。	A	54.1	60.0
		B	40.0	34.1
		C	3.5	2.4
		D	0.0	0.0
②-4	児童生徒の安全確保に心がけ、努力している。	A	51.8	63.5
		B	44.7	35.3
		C	1.2	1.2
		D	0.0	0.0
②-5	きれいで落ち着いた学習環境づくりのために努力している。	A	49.4	34.1
		B	37.6	57.6
		C	8.2	8.2
		D	2.4	0.0
②-6	児童生徒のことについての連絡や相談に適切に対応している。	A	65.9	68.2
		B	28.2	30.6
		C	2.4	0.0
		D	1.2	0.0
②-7	たより・HP等で、学校、学年(学級)の取り組みをよく伝えている。	A	70.6	67.1
		B	27.1	30.6
		C	1.2	2.4
		D	1.2	0.0
②-8	児童生徒の学力向上に向けて努力している。	A	63.5	56.5
		B	34.1	43.5
		C	1.2	0.0
		D	1.2	0.0
②-9	朝読書や読み聞かせ等、読書教育充実のために努力している。	A	56.5	57.6
		B	38.8	40.0
		C	2.4	2.4
		D	1.2	0.0
②-10	児童生徒の心の教育のために努力している。	A	45.9	49.4
		B	48.2	48.2
		C	9.4	2.4
		D	1.2	0.0
②-11	子供の間違っただ行動には適切に指導している。	A	37.6	52.9
		B	55.3	43.5
		C	2.4	3.5
		D	3.5	0.0
②-12	「あいさつ・じかん・くつならべ」の達成のために努力している。	A	58.8	61.2
		B	36.5	37.6
		C	4.7	1.2
		D	0.0	0.0



自由記述【評価理由・意見・要望等】

保護者の皆様からいただいた自由記述(評価理由・意見・要望等)については、全教職員に周知させ、今後の対応を確認した。学校からのこまめな家庭連絡、交流活動、体力向上に向けての取組などに関して、改めて肯定的な意見をいただき、大きな励みになった。また、より良い教育活動を展開していくための貴重なご意見もいただいた。以下に要点をまとめる。

(1)「英会話の向上」について

児童生徒の英会話力の向上を願う保護者の気持ちはもつともである。現在の教育課程では、英会話(EC)の時間を増やすことは難しいが、まずは日常的に行っている授業の質を上げ、ECの授業時間をしっかりと確保することに努める。また、ECの授業を全職員で見学し、意見交換を行うことでより授業の質を高めるという取り組みを、今後も継続して行っていきたい。

また、図工科・音楽科で行っているイメージ教育についても意見をいただいた。教科の力をつけさせる部分と、英語をできるだけ多く使って授業を進める部分とのバランスをよく考えながら、より良い授業形態を今後も探っていきたい。

(2)通学バスの添乗員について

今年度はバス会社の変更などがあり、添乗員の質の向上についての要望が寄せられた。これについては英語のできる添乗員の確保や、学校側からの添乗員指導等を今後も継続して行っていきたいと考えている。

②-13	児童生徒の体力向上に向けて努力している。	A	58.8	65.9
		B	36.5	32.9
		C	3.5	1.2
		D	1.2	0.0
②-14	現地校交流・現地理解講座等を通して児童生徒の国際性を育てている。	A	64.7	67.1
		B	30.6	29.4
		C	4.7	2.4
		D	0.0	0.0

アンケートへのご協力大変ありがとうございました。
 今後も本校学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(3) 授業参観日等の設定について

授業参観日の日程を平日に設定してほしいという意見があった。平日に仕事がある保護者にも参観してほしいという意図のもと、金曜日の開催を原則としているが、平日開催を望む声が多いようであれば、次年度から検討していきたい。

(4) 「図書の整備」について

読書習慣の定着は、本校の重点目標の一つである。そのための図書の充実は大きな課題として捉えている。今年度もPTA等からの補助金のお陰で新規図書の購入を行い、児童生徒が魅力を感じる図書を増やすことができた。また、図書ボランティアの皆様のご協力や図書委員会の活動を通して書架の整理等も進めているところである。次年度からは蔵書管理の電子化も含め、更なる図書室環境の充実を図っていきたい。